

国際政治学専攻

Graduate School of Politics / Major in Global and Asian Politics

募集人員：修士課程 25名 | 開講形態：**夜間・開講** (一部夜間開講) | キャンパス：市ヶ谷
 設置制度：「特別海外留学奨学金制度」(本専攻独自の制度)を設け | 主な進路：教育関係、金融、建設業、進学(博士後期課程)など

地球共生社会の実現をリードする 高度専門職業人へ。

世界の至るところで、グローバリゼーション(世界標準の伝播)とローカリゼーション(個別特殊性の発揮)のせめぎあいや対立が見られます。新しい時代には、これに見合う国際協力とコミュニケーションの有様に対応することが求められます。

国際平和国家を目指すわが国にとって、地球規模問題群(グローバル・イシュー)への政策対応能力と、諸分野における専門性に裏打ちされた構想力・交渉力・実行力を持つ人材の育成は緊急課題です。本研究科では、こうした時代の要請に応える、世界政治、国際開発、地球環境、平和構築、人間の安全保障、アジアのガバナンス(政治と外交)等の諸分野(グローバル・ガバナンスおよびアジア国際政治)の研究教育実績と専任教員を有しています。これまでの蓄積をさらに発展させながら、「国際政治学専攻」(Graduate School of Global and Asian Politics:G-GAP)を設置することで、地球レベルで通用する高度専門職業人の養成を目指します。

■「特別海外留学奨学金」でダブル・ディグリーを目指そう!

G-GAPに在籍する留学希望者の中から優秀者を1名選抜し、海外大学院への留学のために最高300万円の奨学金を支給します。これは、本専攻を休学して1年間「自主留学」し、留学先の大学院から学位を取得する者に対して、学費など留学経費を支給するもので、奨学金の返還義務は発生しません。毎年秋口に募集を行い、一次審査(書類審査)を経て、英語の口頭試問と面接により二次選考を行い、支給対象者を選抜します。

研究室紹介 | グローバル時代の平和構築と 国連の国際開発活動の研究と実践

弓削教授 | 国連システムにおける平和構築と開発活動

グローバル化が進む中で世界が抱える課題—貧困の削減、平和構築、持続可能な開発、人権の保護など地球規模の諸問題に国際社会はいかに対処していくべきなのか。国連職員として長年働いた私の経験に基づき、これら課題に取り組む国連の可能性と直面する多様な問題について理論と実践例から検討する。平和構築や国際開発の現場における課題について次世代を担う若者と議論し、ともに考え、彼らが国際社会で活躍できるようサポートしたい。世界のさまざまな場での議論と活動に加わるためには、国際社会の共通語である英語によるコミュニケーションが必須であることを踏まえ、私の授業はすべて英語で行う。
 ※本専攻には、このほかに国際協力やグローバル・ガバナンスなどのさまざまな分野を扱う研究室があります。



Voice |



修士課程 在学中
松永 和成

学部時代の海外ボランティア経験とゼミでの研究を通じ、 途上国のキャリア形成に向けた専門的知識の獲得のため進学を決意

進学のきっかけ

法政大学3年次に海外のボランティア活動およびゼミにおけるインドでの研究を通じて、途上国の貧困に問題意識を抱き、開発のキャリア形成に向けた専門的知識を付けることを目的に大学院進学を決意しました。

政府や民間企業の途上国保健支援における、保健医療の市場政策活動が与える途上国への影響について分析し、公共政策についての官民連携の効果を分析しています。

大学院の魅力

魅力は、英語を鍛えられる環境と、教授たちとの距離が近いことです。国際政治の実践を意識した授業により鍛え上げられた英語力と国際政治の知識を生かし、特別海外奨学生として1年間英国へ行ってきました。

奨学生応募の際はもちろん、日頃の論文に対するサポートまで担当教授と専攻教授陣と多く話し合いました。さまざまな課題に対応してくれる柔軟な体制も魅力であると思います。

【研究テーマ】グローバルヘルスガバナンスに関する一考察—ビルゲイツ財団の事業活動分析

■専任教員と担当科目 (2016年度) ※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

浅見 靖仁 教授 専 比較政治、開発の政治経済学、東南アジア研究
 研 東南アジアの政治経済、中進国の労働問題、アジア諸国の社会福祉制度
 担 アジア地域・政策研究方法論 国際地域研究(東南アジア) 1

権 鎬淵 教授 専 平和軍事学
 研 日本の防衛政策、日本の対外政策、東北アジアの安全保障問題
 担 アジア地域・政策研究方法論 対外政策研究(朝鮮半島) 1/2 海外大学院留学指導講座

下斗米 伸夫 教授 専 ロシア、CIS 政治、比較政治、グローバル政治史、冷戦史
 研 東アジア冷戦とロシア
 担 国際政治史研究 1/2 対外政策研究(ロシア・中央アジア) 1/2 国際地域研究(ロシア・中央アジア) 1/2 アジア地域・政策研究方法論

萩谷 順 教授 専 現代ドイツ政治、マスコミ論
 研 ドイツと日本の政治・社会システムの比較研究。マスコミと世論形成
 担 グローバル・メディア研究

森 聡 教授 専 国際政治、アメリカ外交
 研 アメリカのアジア戦略、東アジアにおける安全保障、国際システムにおける「平和的変革」の可能性と限界
 担 国際政治理論 アメリカの対外政策

福田 円 准教授 専 国際政治、中国外交、中台関係
 研 中国と台湾の関係史および現状分析、中国外交と国際環境の相互作用
 担 アジア比較政治 アジア統合論 アジア地域・政策研究方法論

Alan Meadows 兼任講師 (科目担当)
 専 International environmental politics, strategy training for second language learners
 担 Academic Reading(初級) Thesis Writing(初級) Presentation & Debate(初級)

※後藤一美教授、多谷千香子教授、John Perkins教授、Alan Meadows兼任講師は、指導教員になることはできません。

■設置科目 (2016年度) ※開講科目は年度により異なります。()内は単位数

| | | | |
|------------------------------|-----------------------|--------------------------|----------------------|
| <修士課程> | 国連・平和構築研究2(平和構築)(2) | 国際開発プロジェクト・マネジメント手法(2) | 国際地域研究(東南アジア)1/2(各2) |
| ●基礎理論科目 | 国際公共調達研究 1/2(各2) | ●アジア国際政治科目 | 国際地域研究(南アジア)1/2(各2) |
| 国際政治理論 | 国際テロ研究 1/2(各2) | アジア地域・政策研究方法論(2) | ●実践講座科目 |
| 政治理論研究 1/2(各2) | 国際情勢分析論 1/2(各2) | アジア比較政治(2) | グローバル政治経済特別セミナー(2) |
| 国際政治史研究 1/2(各2) | 国際情報論1(開発とメディア)(2) | アジア統合論(2) | JICA 寄付講座(2) |
| 国際公共政策研究 1/2(各2) | 国際情報論2(援助とメディア)(2) | アジア平和軍事研究(2) | 国際機関講座(2) |
| 国際協力政策研究 1/2(各2) | 地球環境政治論(2) | 戦略と政策(2) | 総合講座・外交総合講座(2) |
| ●国際政治専門英語科目 | 持続可能な開発のための教育(ESD)(2) | アメリカの対外政策(2) | 総合講座・国際協力講座(2) |
| Academic Reading(初級)(2) | 市民社会組織ネットワーク論(2) | 対外政策研究(中国)1/2(各2) | 海外大学院留学指導講座(2) |
| Academic Reading(上級)(2) | グローバル・メディア研究(2) | 対外政策研究(朝鮮半島)1/2(各2) | 国連大学プログラム(4) |
| Thesis Writing(初級)(2) | グローバル政治経済論(2) | 対外政策研究 | グローバル・インターンシップ(4) |
| Thesis Writing(上級)(2) | 国際金融政策論(2) | (ロシア・中央アジア)1/2(各2) | 海外フィールドワークプログラム(4) |
| Presentation & Debate(初級)(2) | 国際食糧資源エネルギー政策(2) | 対外政策研究(東南アジア)1/2(各2) | 国際政治特別セミナー(2) |
| Presentation & Debate(上級)(2) | 国際情報通信政策(2) | 国際地域研究(中国)1/2(各2) | |
| ●グローバル・イシュー科目 | グローバル・ビジネス研究(2) | 国際地域研究(朝鮮半島)1/2(各2) | |
| 国連・平和構築研究1(国連組織)(2) | プロジェクト評価手法(2) | 国際地域研究(ロシア・中央アジア)1/2(各2) | |